

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 北陸財務局長

【提出日】 平成29年4月14日

【四半期会計期間】 第46期第3四半期(自 平成28年12月1日 至 平成29年2月28日)

【会社名】 タケダ機械株式会社

【英訳名】 TAKEDA MACHINERY CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 竹田 雄一

【本店の所在の場所】 石川県能美市粟生町西132番地

【電話番号】 (0761)58 - 8211 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 鈴木 修平

【最寄りの連絡場所】 石川県能美市粟生町西132番地

【電話番号】 (0761)58 - 8211 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 鈴木 修平

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第45期 第3四半期 連結累計期間	第46期 第3四半期 連結累計期間	第45期
会計期間	自 平成27年6月1日 至 平成28年2月29日	自 平成28年6月1日 至 平成29年2月28日	自 平成27年6月1日 至 平成28年5月31日
売上高 (千円)	3,658,290	3,663,099	4,871,815
経常利益 (千円)	438,599	372,811	582,335
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	277,794	232,369	394,238
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	295,381	249,013	422,491
純資産額 (千円)	2,345,340	2,594,055	2,375,154
総資産額 (千円)	5,785,230	5,986,491	5,749,911
1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	28.53	25.39	40.68
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	39.9	43.3	41.3

回次	第45期 第3四半期 連結会計期間	第46期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成27年12月1日 至 平成28年2月29日	自 平成28年12月1日 至 平成29年2月28日
1株当たり 四半期純利益金額 (円)	10.78	5.87

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、中国及びその他新興国の経済が減速する中、国内の個人消費や輸出の一部に持ち直しの兆しが見られ、製造業の生産活動は活発化しつつあり、一方、英国のEU離脱、米国新政権の政策、韓国大統領の罷免等の政情不安が顕在化するなど、総じて予断を許さない状況であります。

このような状況の下、当社グループは「お客様視点のものづくり」を基本原点に、新製品開発の促進、提案営業の展開、保守サービスの充実、付加価値の改善等に積極的に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,663百万円(前年同期比0.1%増)、営業利益は363百万円(前年同期比17.2%減)、経常利益は372百万円(前年同期比15.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は232百万円(前年同期比16.4%減)となりました。

品目別売上高につきましては、形鋼加工機は2,414百万円(前年同期比2.4%増)、丸鋸切断機(注)は403百万円(前年同期比20.7%減)、金型は298百万円(前年同期比6.2%増)、受託事業・その他は123百万円(前年同期比1.5%増)、部品は363百万円(前年同期比8.5%増)、サービスは60百万円(前年同期比8.7%増)となりました。

なお、当社グループの事業は工作機械関連事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(注) 第1四半期連結会計期間より、品目別名称を「丸鋸盤」から「丸鋸切断機」に変更しております。

(2) 財政状態の分析

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は5,986百万円となり、前連結会計年度末に比べ236百万円増加となりました。

これは、主に受取手形及び売掛金が338百万円、固定資産が129百万円増加したこと、また現金及び預金が203百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は3,392百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円増加となりました。

これは、主に支払手形及び買掛金が75百万円、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む。)が350百万円増加したこと、また短期借入金が190百万円、未払法人税等が191百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は2,594百万円となり、前連結会計年度末に比べ218百万円増加となりました。

これは、主に利益剰余金が186百万円、その他有価証券評価差額金が16百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年2月28日)	提出日現在発行数(株) (平成29年4月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	10,200,000	10,200,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	株主としての権利内容に制 限のない、標準となる株式 単元株式数 1,000株
計	10,200,000	10,200,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成28年12月1日～ 平成29年2月28日		10,200,000		1,874,083		

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成29年2月28日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 45,000 (相互保有株式) 普通株式 950,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,146,000	9,146	
単元未満株式	普通株式 59,000		
発行済株式総数	10,200,000		
総株主の議決権		9,146	

- (注) 1. 単元未満株式には当社所有の自己株式365株が含まれております。
 2. 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成28年11月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成29年2月28日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) タケダ機械株式会社	石川県能美市 粟生町西132番地	45,000		45,000	0.44
(相互保有株式) タケダ精機株式会社	石川県能美市 吉光町ト72番地1	950,000		950,000	9.31
計		995,000		995,000	9.75

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成28年12月1日から平成29年2月28日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成28年6月1日から平成29年2月28日まで)に係る四半期連結財務諸表について、明治アーク監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	722,450	519,115
受取手形及び売掛金	958,789	1,296,957
製品	847,189	769,522
仕掛品	231,450	297,824
原材料	291,436	325,556
繰延税金資産	57,275	33,447
その他	37,192	10,254
貸倒引当金	163	-
流動資産合計	3,145,622	3,252,678
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	637,245	687,742
土地	1,021,729	1,021,729
その他(純額)	522,233	471,109
有形固定資産合計	2,181,208	2,180,580
無形固定資産	123,920	165,238
投資その他の資産		
その他	302,299	391,133
貸倒引当金	3,140	3,140
投資その他の資産合計	299,159	387,993
固定資産合計	2,604,288	2,733,812
資産合計	5,749,911	5,986,491
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	450,284	526,024
短期借入金	860,000	670,000
1年内返済予定の長期借入金	413,388	430,328
未払法人税等	198,715	6,722
賞与引当金	100,509	57,128
役員賞与引当金	22,800	19,350
製品保証引当金	3,854	3,057
その他	210,573	250,601
流動負債合計	2,260,124	1,963,211
固定負債		
長期借入金	643,522	976,809
繰延税金負債	41,615	53,261
役員退職慰労引当金	136,304	123,227
その他	293,189	275,925
固定負債合計	1,114,631	1,429,223
負債合計	3,374,756	3,392,435

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,874,083	1,874,083
資本剰余金	43,117	44,103
利益剰余金	633,679	820,459
自己株式	181,125	166,633
株主資本合計	2,369,755	2,572,013
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,398	22,042
その他の包括利益累計額合計	5,398	22,042
純資産合計	2,375,154	2,594,055
負債純資産合計	5,749,911	5,986,491

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)
売上高	3,658,290	3,663,099
売上原価	2,563,305	2,637,188
売上総利益	1,094,984	1,025,910
販売費及び一般管理費	656,202	662,606
営業利益	438,782	363,303
営業外収益		
受取利息	86	222
受取配当金	1,478	2,765
仕入割引	21,724	19,207
受取賃貸料	4,628	4,396
助成金収入	1,500	941
為替差益	-	4,187
その他	4,984	13,608
営業外収益合計	34,402	45,330
営業外費用		
支払利息	19,767	18,608
売上割引	12,036	14,911
その他	2,781	2,301
営業外費用合計	34,585	35,822
経常利益	438,599	372,811
特別利益		
固定資産売却益	11,168	1,499
補助金収入	77,606	-
特別利益合計	88,775	1,499
特別損失		
固定資産除却損	158	0
特別損失合計	158	0
税金等調整前四半期純利益	527,216	374,311
法人税、住民税及び事業税	175,914	113,805
法人税等調整額	32,400	28,135
法人税等合計	208,315	141,941
四半期純利益	318,901	232,369
非支配株主に帰属する四半期純利益	41,106	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	277,794	232,369

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)
四半期純利益	318,901	232,369
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,520	16,643
その他の包括利益合計	23,520	16,643
四半期包括利益	295,381	249,013
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	255,218	249,013
非支配株主に係る四半期包括利益	40,162	-

【注記事項】

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成29年2月28日)
「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

当座貸越契約

当社グループは運転資金の効率的な調達を行うため、取引銀行6行(前連結会計年度は取引銀行6行)と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
当座貸越極度額	2,430,000千円	2,450,000千円
借入実行残高	860,000 "	670,000 "
差引額	1,570,000千円	1,780,000千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年6月1日 至 平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成29年2月28日)
減価償却費	127,408千円	145,969千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年6月1日 至 平成28年2月29日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年8月27日 定時株主総会	普通株式	30,473千円	3.00円	平成27年5月31日	平成27年8月28日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、連結子会社が保有する当社普通株式に対する配当金が含まれております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年6月1日 至 平成29年2月28日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年8月25日 定時株主総会	普通株式	50,774千円	5.00円	平成28年5月31日	平成28年8月26日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、連結子会社が保有する当社普通株式に対する配当金が含まれております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年6月1日 至 平成28年2月29日)

当社グループの事業は工作機械関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年6月1日 至 平成29年2月28日)

当社グループの事業は工作機械関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年6月1日 至 平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成29年2月28日)
1株当たり四半期純利益金額	28円53銭	25円39銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する 四半期純利益金額 (千円)	277,794	232,369
普通株主に帰属しない金額 (千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額 (千円)	277,794	232,369
普通株式の期中平均株式数 (株)	9,738,494	9,152,938

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年 4月10日

タケダ機械株式会社
取締役会 御中

明治アーク監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 二 口 嘉 保 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 米 倉 礼 二 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているタケダ機械株式会社の平成28年6月1日から平成29年5月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成28年12月1日から平成29年2月28日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成28年6月1日から平成29年2月28日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、タケダ機械株式会社及び連結子会社の平成29年2月28日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。